

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	A-2-1
事業名	小中学校避難用外階段設置事業
事業費	総額 35,203,609 円（国費 23,468,000 円） （内訳【平成 24 年度】：設計費 1,995,000 円） （内訳【平成 25 年度】：工事費 32,199,764 円 工事監理費 1,008,845 円）
事業期間	平成 24 年度～平成 25 年度
事業目的	海岸からの距離が 1.8 km に位置する緑海小学校と、1.5 km に位置する蓮沼中学校において、屋上まで上れる外階段を設置し屋上を一時的な避難施設として整備することにより近隣住民の安全確保を図る。
事業地区	緑海小学校（山武市松ヶ谷ロ 471 番地 1） 蓮沼中学校（山武市蓮沼ハの 1036 番地）
事業結果	緑海小学校 ○ 緑海小学校 想定避難者 1,192 人（屋上使用可能面積 596 m²、2 人／m²換算） ・ 3 階建校舎の屋上に避難できる、全高 12.8m、全幅 4.4m、階段の有効幅員 1.7m の外階段を設置。 ・ 学校敷地内に LED ソーラー照明付の標示用看板 3 箇所、誘導用看板 2 箇所、最上部階の段踊り場に津波避難ビルの看板 1 箇所設置。 ・ 避難用外階段から近い外構に引戸門扉設置。  蓮沼中学校 ○ 蓮沼中学校 想定避難者 800 人（屋上使用可能面積 400 m²、2 人／m²換算） ・ 3 階建校舎の屋上に避難できる、全高 12.8m、全幅 4.4m、階段の有効幅員 1.7m の外階段を設置。 ・ 学校敷地内に LED ソーラー照明付の標示用看板 2 箇所、誘導用看板 1 箇所、最上部階の段踊り場に津波避難ビルの看板 1 箇所設置。



事業の実績に関する評価

① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

両校とも海岸からの距離が 2.0 km 未満と近いこと、外階段を設置したことにより、津波発生時には、共に 3 階建校舎の屋上が一時的な避難施設として避難できるようになり、児童や近隣住民の安全確保を図ることができたため、事業により整備したことの有用性は高かったと評価する。

② コストに関する調査・分析・評価

津波避難階段の仕上げ塗装を行わず、溶融亜鉛メッキ素地仕上げとすることで、工事費のコストを削減し、また、仕上げ塗装を除いたことにより工期を短縮し、経費の削減に努めたことは評価する。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

業務	想定期間	実績
設計業務	平成 24 年 12 月～平成 25 年 2 月	平成 25 年 2 月～平成 25 年 3 月
設置工事	平成 25 年 6 月～10 月	平成 25 年 8 月～平成 26 年 3 月

想定期間より遅れは生じていたが、設置工事において各工程を同時進行するなど工期の短縮に努め、年度内に事業を完了することができているため、適正であったと評価する。

事業担当部局

山武市教育委員会施設整備課 電話番号：0475-80-1107